



Japan Translation Federation

日本翻訳ジャーナル

社団法人日本翻訳連盟機関誌

2004年1月/2月号

- 目次 -

Report

2004年を飛躍の年に	1
愛・地球博ボランティア募集	2
翻訳者の子育て	3

Honrenso

No.84	4
No.85	6

Information

JTF 西日本セミナー報告	7
JTF 翻訳環境研究会報告	8
日本語に関する電子辞書	10
英訳のプロセス	11
法人会員プロフィール	12
個人会員プロフィール	13
News	15
JTF ニューフェイス	16
理事会だより	16

社団法人日本翻訳連盟

〒104-0032

東京都中央区八丁堀2-8-1 牧野ビル3F

TEL 03-3555-6365

FAX 03-3552-1784

発行人 勝田 美保子(会長)

編集人 野上 員生

印刷 創栄印刷工業株式会社

E-mail info@jtf.jp

URL http://www.jtf.jp/

2004年を飛躍の年に

JTF 会長 勝田 美保子

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年を迎えられた事と存じます。

さて本年2004年、私たちは本格的なグローバル化の時代を迎えました。翻訳業界には数年前からローカリゼーションがはばなく台頭し業界を活気づけましたが、しばらくその勢いを失い買収や合併などによって企業の数も淘汰されてきました。

今年は海外では新しいIOSも次々と開発され再びローカリゼーションの需要に明るい兆しが身近に見えるようになりました。しかしその制作やサービスの形態は、より優れた効果を追求してドラスティックに変化し続けています。今やお互いの強みを活かした同業他社とのコラボレーションの中で各企業がどう収益をあげて行くかが緊急の課題になっています。

また今まで内製化を進めてきた日本企業も徐々にグローバル化に向かって活発に活動して行くのではないのでしょうか。

昨年10月に「翻訳は不況か?」という単刀直入なテーマで翻訳祭が開催されましたが、挨拶や講演その他のパフォーマンスの中に業界の状況や今後のあるべき姿についてのキーワードが幾つかありました。何よりも世界のグローバル化が追い風となること、海外に向けて情報発信の重要性が高まる可能性、研究開発費の増加の期待、その他いくつかの需要増加予測がありました。しかし一方ではパネルディスカッションの中で翻訳という仕事クライアントにも十分に理解されていないこと、翻訳業の地位が認められていないことなどが指摘されました。

本格的なグローバル化の時代では諸産業を支援するという翻訳産業の役割が、ますます重要になってくると思います。このような役割を果たすために私たちは次のような領域で努力しなければならないと考えています。

まず第一に急速に進みつつあるテクノロジーに追随することです。コンピュータや通

信の技術、つまりITの進歩には目を見張るものがあります。このような技術にはインターネット活用技術もありますが、いわゆる翻訳支援ツールも含まれます。さらに重要な事は翻訳のコンテンツである先端的科学技術の進歩にも出来るだけ追従したいものです。これらの先端技術には、広範な産業の基盤であるナノテクノロジー、さらにバイオテクノロジーなどが含まれます。

次に、翻訳能力の不断の向上をはからなければなりません。コンピュータ通信、あるいは翻訳支援ソフトを駆使する能力は上に述べたように重要ですが、これらの手段は、翻訳の質そのものを決定するものではありません。翻訳の質は、基本的に従来どおり語学力や翻訳技能に依存するものだと思います。語学力や翻訳技能のレベルを全体に高めてゆくためには、若手翻訳者の育成をはかる事も重要です。すでにご活躍の翻訳者も言うまでもなく自らの能力を絶えず向上していただくなくてはなりません。

また翻訳会社内では組織とシステムを構築し、マネージメントも含めて新しい時代に不断に対応して行けるかどうか、翻訳産業の発展と地位向上の鍵であると考えます。

JTF会員の皆様、2004年が皆様にとって輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。



愛・地球博ボランティア募集

さあ、21世紀最初の万国博覧会でとびっきりの体験をしよう。

日本にいながらにして世界の人々とふれあい、語り合い、新たな発見に歓喜する - 多くの期待を胸に2005年春に向けて「愛・地球博」の準備は着々と進められています。開会まではまだ少し時間が必要ですが、今確かに言えること - それば「きっと誰も想像し得ない素敵な予感に満ち溢れている」という事実。

愛・地球博ボランティアセンターでは、生涯に何度巡り会うことができるかわからない、この特別な瞬間をともに創り上げる仲間「ボランティア」を募集します。



〔第1次募集〕2004年1月26日(月)～3月31日(水)

募集人数：15,000人(先着順にて受け付けます)

活動内容：お客様のご案内、外国語による情報提供、迷子の対応、お年寄りや体の不自由な方のお手伝い、美化活動などを中心にボランティア自身が企画した活動をお願いします。

活動場所：愛・地球博会場内(長久手会場・瀬戸会場)および隣接するターミナル(鉄道駅：東部丘陵線 青少年公園駅)

活動期間：博覧会開催中 / 2005年3月25日～9月25日

活動時間：午前8時30分から午後10時30分のうち、5～6時間程度(2～3交代シフト)

募集条件：5日以上活動いただける方、2005年4月1日時点で満15歳以上である方(高校生は原則として保護者の同意が必要)、愛・地球博ボランティアセンターが指定する研修(1日)に参加できる方

待遇：ユニフォーム、食事支給。交通費(一部)交通カードにて支給。ボランティア保険加入

申込方法：応募は専用申込書に必要事項を記入の上、郵送・FAX、またはホームページ募集フォームに必要事項を入力ください。申込書/募集要項は愛・地球博ボランティアセンター、(財)2005年日本国際博覧会協会、愛知県内の郵便局・市区町村役場・社会福祉協議会事務所、愛知・岐阜・三重県内のサークルKなどで配布しています。一部配布していない施設もあります。下記お問合せ電話でご確認ください。



ホームページアドレス：<http://www.vol-expo2005.jp>

お問合せ電話番号：052-218-5087

愛・地球博ボランティアセンター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 愛知県産業
貿易館西館2階

(社)日本翻訳連盟は愛・地球博ボランティアセンターのサポーターになっています。

LDS の翻訳者は、マニュアルからローカライズ用そして書籍や専門誌の翻訳まで幅広くカバーしながら、その高い品質によって顧客の絶対的な信頼を得ています。翻訳の第一線で活躍する2人のLDS翻訳者が、新鮮な素材を使って、オンラインでお教えします。顧客に評価される翻訳技術を身につけてください。

■ オンライン講座「IT 書籍を翻訳する」

次回申込みは 2004 年 3 月 1 日～

■ オンライン講座「実践ローカライズ講座」



4月10日 前期開講予定

お問い合わせは … 03-5454-2531 詳細ならびにお申し込みは … <http://www.lds.co.jp/School/>

LDS

株式会社 ランゲージ ドキュメンテーション サービス
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-20-16 PRODUCE ONE 4F

LDS オンライン講座事務局

翻訳者の子育て

個人翻訳者 小館 光正

翻訳者となって20年目を迎えたが、我が家の末っ子(男の子)はやっと1歳になったばかりだ。妻はフルタイムで働いており、また、3人目の子供は私が強く望んだという事情もあるので、妻の職場復帰と同時に育児を引き受けた。家事は以前から担当しているの、今は育児と家事の合間に仕事をしているという状況だ。

私の典型的な一日をざっと書くと、まず朝は5時に起きて、家族が寝ている間に朝の一仕事を済ます。7時半に小学生の長男と妻を送り出してから、幼稚園児の長女の弁当を作り、食器洗いと洗濯を片付けて、9時には幼稚園に送っていく。帰宅する頃にちょうど末っ子が寝るので、昼まで仕事に集中。目を覚ましたら、ミルクと離乳食を与え、掃除などをして仕事に戻るが、マウスを奪ったり、横からキーを叩いたり、パソコンのカバーをもぎ取ったりと、散々邪魔が入るので、仕事は思うように捗らないことが多い。こういうときは、仕事を中断し、2人で夕食の買い物へ出掛ける。2時頃には再び寝てくれるので、5時までの3時間で仕事を片付けてしまう。5時になったら長女(延長保育)と長男(学童保育)を迎えに行き、帰宅して夕食の支度。出来上がる頃に妻が帰宅する。忙しいときは夕食後にもう一仕事するが、そうでなければ後片付けと入浴、その他の雑用で一日が終わる。子供達を寝かしつけたら、缶ビールを1本だけ飲んで10時には寝る。健康そのものの生活だ。

平日は、私が仕事に集中できる時間は1日に5~6時間である(納期に間に合わないときは朝3時に起床する)。しかし、そ

の間は100%、席を一切立つことなく仕事に集中しているわけだから、これで十分だ。とにかく、自分に与えられた時間がこれだけしかないと思えば、その時間内に何とか終えてしまうものである。末っ子を保育所に預ければ、もっと多くの時間を仕事に割けるのだろうが、この子と離ればなれになるなんて、今の私には耐えられない。何より、昼間の私に自由時間を与えるということは、映画やスポーツクラブに行けと言っているようなものだ。赤ん坊の面倒を見るという“拘束”があるからこそ、私は自宅(兼仕事場)に留まらざるを得ず、仕事に没頭できるのである。

もう3人目なので手慣れたものだが、やはり子育ては大変だ。夏休みなど、3人の子供を連れて動物園や遊園地に出掛け、園内のレストランで末っ子にミルクを与えていると、周囲の人から「偉いですね」などと言われることが多い。最初の頃は「父親の育児能力を甘く見るなよ」と心外だったが、やはり私のような髭面の男が子供3人(しかも1人は乳児)の面倒をみているというのは、特に年輩のご婦人には殊勝な光景に映るのだろう。そう思うようになってからは、笑顔を返せるようになった。

子育てをしていると、とても大きな喜びがある。何よりも、子供たちの懐き方が半端じゃない。末っ子など、妻に抱かれていても、私の姿を見るとこちらへ来たがって泣くほどだ。あえて書くが、「父親は子供に背中を見せて生きればいい」なんていうのは、子育てに参加しない男達の言い訳に過ぎない。動物行動学的には

男性(ヒトのオス)は子育てに向かないようにDNAがプログラムされているという話も聞くが、そんな“本能”など、“理性”で感じる喜びが蹴散らしてしまう。また、育児をするようになってから、他人に対して少し寛容になれたようだ。やたらとイライラしている大人を見かけると、眠いのか、それともお腹が空いているのかな、などと思うようになった(実際、人が怒るときはこのどちらかのときが多い)。

長男が小さい頃、まだ私は「育児と家事は女性の仕事」と考えていた。長男は典型的なママっ子に育ったが、男の子はママっ子なのが当たり前だと思っていたので、特に疑問は抱かなかった。長女が生まれた頃は妻が忙しかったので、育児の分担を半々にした。すると、長女はパパっ子になったが、この懐き方の違いは男女差なのだろうと解釈していた。しかし今、末っ子の私への懐き方を見ていると、以前の私は大きな損をしていたのだと後悔している。

同業者の皆さんは、在宅の方が多だろうから、もし今、小さいお子さんがいらっしゃるのなら(もしくはこれから誕生する予定があるのなら)、たとえ仕事以外の楽しみを数年先に延ばしてでも、子育てを引き受けてみては如何だろうか。子育てと翻訳はけっこう両立できる。もちろん大変だし、仕事に影響が出ないわけではないが、得られるものは大きいと断言できる。

ちなみにこの原稿は、暴れる末っ子を膝に乗せながら書いている。文中のタイプミスは彼のせいだと思って頂きたい。

お待たせしました

トランススマートは翻訳会社様向けに新しいサービスを開始いたします。
優秀な人的リソースの共有を目標にサービスを開始してから3年。
翻訳文の一次品質がプロジェクト全体のコストを大きく左右するプロの現場にも自信を持ってご紹介できる優秀な翻訳者が集まりました。

<http://www.trans-mart.net/transagt/index.html>



トランススマート株式会社
株式会社ヒューコムは
トランススマート株式会社
に社名を変更しました。

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-13-11 シブヤビル2F
03-5363-0370
info@trans-mart.net

ほんれんそう

No.84

誌上勉強会 (37) 医薬翻訳 (第23回) 森口 理恵

今回は、米国食品医薬品局(FDA)が出した消費者向けの文章を訳していただきました。力作をお寄せいただいた方々、ありがとうございます。

ハロウィンとはアメリカで10月31日に行われるお祭りで、夜になると子どもたちは仮装をして近所の家々を回り、“trick or treat”(お菓子をくれないとイタズラするぞ)と声をかけ、大人たちは子どもたちにお菓子を手渡します。楽しい行事ですが、お菓子や果物に毒物や針を混入する事件が問題になっています。今回の題材は、FDAが出したハロウィンについての注意事項です。この文章が掲載されていたインターネットサイトの画面のデザインは黒背景で文字はオレンジ色、タイトルの左右にはJack-o-lantern(カボチャの提灯)があしらってあります。この雰囲気合う訳文を作りましょう。(原文：<http://www.fda.gov/oc/opacom/kids/treats.html>)

タイトル: Tips for Parents about Treats

Treatsとはハロウィンでもらうお菓子のこと。tipsは辞書には「忠告」「助言」などありますが、「注意事項」などのなじみのよい表現を使いましょう。「アドバイス」も文脈によっては可ですが、この文章ではもう少し強制度の高い表現を使うべきです。Parentsは「両親」「親」には違いありませんが、日本語でこのような文章を書く場合は「保護者」と表記するのが普通ですね。訳すときには、同じ文章を日本語で起こすときにはどのような表現を使うのかを必ず考えてください。

訳例: 保護者の方へ - ハロウィンのお菓子についての注意

第1項目: Children shouldn't snack while they're out trick-or-treating, before parents have a chance to inspect the goodies. To help prevent children from munching, give them a snack or light meal before they go - don't send them out on an empty stomach.

第1文の前半は、要は「もらったものを外で食べるな」です。while they're out trick-or-treatingはハロウィンの行事で近所を回ることを意味していますが、タイトルでハロウィンの注意事項であるのが明らかであるため、訳文ではある程度の刈り込みは許されるでしょう。第1文は前半部を先に訳して、before以下を後に訳するのがコツです。「～でなければ食べてはいけない」と後ろから訳しあげると注意事項がぼけてしまいます。

また、日本語では動作の主体が明らかな場合は主語を省略するのが一般的です。原文中の“children”は全部訳出する必要はありません。

訳例: ハロウィンでもらった物を外で食べさせないでください。もらった物は保護者が調べてから与えてください。外出中のつまみ食いを防ぐため、おやつや軽い食事を取らせてから送り出しましょう。空腹のまま外出させてはいけません。

第2項目: Tell children not to accept - and, especially, not to eat - anything that isn't commercially wrapped.

commercially wrappedとは、菓子メーカーが出荷した状態の包装を意味します。販売店や家の人が包装紙やリボンをつけて包装したものではありません。「市販のお菓子」はなじみのよい表現ですが、それだけでは包装を外した市販の菓子が入ってしまうのでダメです。どのような表現を使えばcommercially wrappedの意味が伝えられるか、日本語ではどういえば通じるのかを考えて訳してください。

訳例: お子さんには、開封されていない市販のお菓子以外は受け取らないよう、また食べないように言い聞かせてください。

第3項目: When children bring their treats home, discard any homemade candy or baked goods. Parents of young children should also remove any choking hazards such as gum, peanuts, hard candies or small toys.

www.to-in.co.jp

翻訳者・チェッカ募集中。
上記URLからご応募ください。

 **TOIN** 株式会社 十印


〒105-0014 東京都港区芝1-12-8 十印ビル
Phone: 03-3455-8711 / Fax: 03-3455-8957

翻訳・通訳のスペシャリストを派遣します。

翻訳・通訳・テクニカルライター・
プロジェクトマネージャ・バイリンガルセクレタリなど

www.toin-hf.com

● 登録 随時 受付中 ●

 **TOIN** 株式会社 十印ヒューマンフロンティア
HumanFrontier

〒105-0014 東京都港区芝1-12-8 十印ビル
Phone: 03-3455-8861 / Fax: 03-3455-8863
一般労働者派遣業(股13-04-0647) / 有料職業紹介業(13-04-ユ0518)

candyは日本で一般にいうキャンディ(あめ玉)とは違い、チョコレート菓子も含まれます。baked goodsはクッキーやケーキなど焼き菓子のこと。訳文ではcandyやbaked goodsを区別せず、「手作りのお菓子」と総称的に訳してよいでしょう。

When children bring treats homeを「持ち帰ってきた時には」や「持ち帰ってきた場合」と訳するのは今ひとつです。仮装して、戦利品を入れる袋を持って意気揚々と出かけた子どもが手ぶらで帰ってくるはずはないのですから、持ち帰らないことがあるようなニュアンスを含めるのは避けてください。When 以下は「帰宅したときに」という意味です。

訳例:家に持ち帰ったお菓子をみて、手作りのお菓子があれば捨ててください。小さいお子さんの場合は、ガム、ピーナツ、あめ玉や小さなおもちゃなど窒息のおそれのあるものも取り除きます。

第4項目:Wash all fresh fruit thoroughly, inspect it for holes, including small punctures, and cut it open before allowing children to eat it.

fresh fruitは「新鮮な果物」ではありません。しなびた果物を子どもにわたす人などいません。ここでのfresh fruitはドライフルーツではない生の果物という意味です。過去に果物に針やカミソリを仕込む事件があったことと、子どもは普段はリンゴを丸かじりすることから、果物の取り扱いについての項目があるのです。

訳例:生の果物はよく洗い、孔や刺し傷がないかよく調べてください。果物は切ってから与えましょう。

今回はインフルエンザに関するQ&Aを訳してください。

翻訳は、2月29日までに森口理恵まで電子メールでお送りください(E-mail: riye@remus.dti.ne.jp)。電子メールの件名は「ほんれんそうNo.84訳文」としてください。皆様のご参加をお待ちしております。

次回英文:

How do I find out if I have the flu?

It is very difficult to distinguish the flu from other viral or bacterial causes of respiratory illnesses on the basis of symptoms alone. A test can confirm that an illness is influenza if the patient is tested within the first two to three days after symptoms begin. In addition, a doctor's examination may be needed to determine whether a person has another infection that is a complication of influenza.

How long is a person with flu virus contagious?

The period when an infected person is contagious depends on the age of the person. Adults may be contagious from one day prior to becoming sick and for three to seven days after they first develop symptoms. Some children may be contagious for longer than a week.

出典:<http://www.cdc.gov/flu/about/qa/disease.htm>

(今号より「ほんれんそう」の執筆陣として高崎栄一郎氏に加わっていただくことになりました。これにともない、高崎氏が毎号1ページ、森口氏と松下氏は1号おきに2ページの執筆となります。)



ALVIS
GLOBAL COMMUNICATORS

株式会社アルビス
<http://www.alvis.co.jp>

募集

企画営業

チェッカー

翻訳コーディネーター

フリーランス翻訳者(英・中・韓 他)
特に半導体、センサー等の精密機器等

履歴書・職務経歴書送付(e-mail)可 翻訳者のみトライアル有

大阪オフィス
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-13-15
クリエイビル8F
Tel.06-6532-2367 Fax.06-6532-2369

東京オフィス
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-11-6
共同ビル(内神田)7F
Tel.03-5209-2861 Fax.03-5209-2865
trans@alvis.co.jp

ソフトウェア関連ドキュメントの

翻訳 翻訳者派遣

ソフトウェア分野の翻訳に特化しております

- ・TRADOS翻訳が100%です
- ・英文和訳中心です
- ・派遣先は外資系ソフトウェアメーカーです

新進気鋭の翻訳者を探しています

ABES (株)エイブス
<http://www.abes.co.jp/>

〒154-0012
東京都世田谷区駒沢
2-11-1 集花園ビル4F
TEL:03-5431-6371
FAX:03-5431-6372
E-mail:hara@abes.co.jp

コンピュータ、情報通信、特許の技術翻訳者を養成

注目の新講座

『翻訳者のためのコンピュータ講座』

翻訳に必要なコンピュータ知識を効率的に習得

『特許英和演習』

実際の英文特許明細書を和訳演習するコース

エイブス ABES技術翻訳SCHOOL

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢2-11-3 第二集花園ビル3F
TEL:03-5432-4466 FAX:03-5432-4467
E-mail:school@abes-tt-schl.com

<http://www.abes-tt-schl.com/>をご覧ください!

ほんれんそう No.85

翻訳とは何か 翻訳における等価性(1) 高崎 栄一郎

2002年新年号をもって野上編集長に交代するまで、この日本翻訳ジャーナルのお世話をしていた高崎が、2年ぶりに登場させていただきます。まずは翻訳という知的作業の本質を考えることにします。

翻訳とは何か？

翻訳に携わる者は、翻訳の定義を考えることはなくても、翻訳とは何であるかを経験的に理解しています。しかし、直訳とは何か、意訳とは何か、どの程度の意識が許されるのか、どの程度の意識をすべきであるかという疑問に遭遇すると、改めて翻訳とは何であるかを考えてみたくなります。

「現代言語学辞典」(成美堂)によると、translation(翻訳)とは『ある言語で表現された意味内容を、文体的な要素を考慮しながら別の言語で表現すること』とあります。さらにこの辞典は、逐語訳(word-for-word translation)と自由訳(free translation)の区別に触れています。別の視点から見た定義も見ましょう。ロシア生まれで、後年米国で活躍した著名な言語学者 R. ヤコブソン(Roman Jakobson 1896-1982)は次のように述べています。“The translator recodes and transmits a message received from another source. Thus translation involves two equivalent messages in two different codes.”(翻訳者は別の情報源から得たメッセージを再度コード化し、伝達する。こうして翻訳は2つの異なるコードによる2つの等価のメッセージを含む。)

翻訳の他の定義を見ても、equivalence(等価)という用語がよく使われています。日本の翻訳界でも「等価翻訳」という表現はよく使われてきました。しかし等価とは、単語や句の等価を言うのか、センテンスの等価なのか、それともセンテンスのグループの等価なのか、すなわちどのレベルで等価であるかが問題です。

コードの意味

「等価のレベル」については、後で考察するとして、ヤコブソンの定義にある「コード」とは何でしょう。伝達すべき情報を記号に変えるときの決まりをコードといいます。コード化(encode)された情報は、受信者に伝えられ、受信者によって解読(decode)されます。この場合、発信者と受信者は同じコードを持っていなければなりません。すなわち、原文の執筆者(発信者)と翻訳者(受信者)が同じコードを使い、同じ理解をもたなければ、正しい翻訳は成立しません。翻訳者は解読した記号を目標言語(target language)にコード化しますが、この場合、起点言語(source language)の記号と目標言語の記号が等価である必要があります。さらに翻訳者が使った目標言語のコードと翻訳文の読者のコードが同じでなければ、翻訳文は正しく解釈されません。

このように翻訳者は、2つのコード体系を仲介するという、複雑で困難なコミュニケーション上の役割を果たしているのです。コードとは文法と辞書から成り立つものですから、翻訳者は2つの文法体系を正しく理解し使いこなすと同時に、専門用語はもちろん、執筆者が主観に基づいて使った「記号」も、記号の周辺の「コンテキスト」も把

握できなければなりません。ここで翻訳者は、記号を理解するという作業と、理解した内容を別のコード体系の記号に変換するという2つの仕事を行っていることは、指摘するまでもありません。記号の内容を理解できないまま、辞書を頼りに別の記号体系(他の言語)に変換しようとする試みは、非常に危険です。

等価の種類

起点言語で書かれた原文と、目標言語に訳された翻訳文が等価でなければならないという翻訳の大原則に異議を唱える人はいないでしょうが、「等価」とは何であるかをさらに深く考えるべきだと思います。米国の E. ナイダ(Eugene Nida 聖書翻訳者として有名)は、2つの等価概念を提唱しています。

1. 形式的等価

形式的等価(formal equivalence)は、メッセージ自体に目を向けられており、形式的にも内容も、目標言語と起点言語の各種要素は、できるだけ合致していなければならないというものです。

2. 動的等価

動的等価(dynamic equivalence)は、目標言語における読み手とメッセージの関係は、起点言語における読み手とメッセージの関係と実質的に同一でなければならない、というものです。すなわち翻訳文は、読み手の文化に即した、目標言語として自然な表現でなければなりません。さらに動的等価は、翻訳文が、目標言語における読み手が示す反応と同じ反応を起点言語における読み手から引き出すことを求めています。

ナイダによる動的等価は、翻訳の4つの要件を求めています。

- (1)意味が通じる
- (2)原文の精神を伝える
- (3)自然で簡単な表現を使う
- (4)原文が与える反応に似た反応を引き出す

フリーランス翻訳者、とくに技術翻訳者にとっては、動的等価の(1)と(3)の要件は納得できますが、(2)と(4)の要件については、異論があるかもしれません。すなわち、翻訳者は原文の意味内容を正確に、わかりやすく伝えることに徹すべきだという考えです。しかし価値観を伝える文書の翻訳においては、(2)が重要です。ビジネス文書の翻訳においては、しばしば(4)の要件を意識します。すなわち、ビジネスレターの翻訳においては、書き手の立場や主張を読み手にわかってもらい、読み手を説得しなければ、翻訳の目的は達成できないと思うことがしばしばあります。この目的意識は、企業の目的追及への協力を求められる社内翻訳者の場合はさらに強く、このために翻訳文が原文から逸れることもあります。このように文書の種類によって、翻訳者の視点は大幅に違ってきます。

(高崎 栄一郎: JTF専務理事、日本大学非常勤講師)

JTF 西日本セミナー報告

 平成 15 年度第 4 回 JTF 西日本セミナー
 平成 15 年 12 月 16 日(土)14:00 ~ 16:00
 【場所】新大阪ワシントンホテルプラザ
 【テーマ】翻訳の裏を取るとは? - メディ
 カル翻訳の実践 -
 【講師】森口 理恵 (医薬翻訳者)

当日は、あいにくの雨にも関わらず、た
 くさんの方々がお来場下さいました。当
 日参加を含め 60 名ほどの参加者をお迎え
 でき、森口様の講義に対する人気と信頼
 を強く感じました。

人数に比して会場が狭く、森口様にも、
 ご参加下さった皆様にも、大変ご迷惑を
 おかけしてしまいました。参加者の方か
 らは、会場の場所がわかりづらいという
 ご指摘もいただき、素晴らしい講師と多
 くの参加者をお迎えしてしながら、私ど
 ものセミナー運営には、7 回目の開催に
 してまだまだ課題が残されていることを、
 恥ずかしく思いました。

これまでの西日本セミナーと同じく、



今回も特に参加対象を設定しておりませ
 んでしたので、参加の是非を迷われた方
 もおられたのではと思います。交流会で
 お話をさせていただき、アンケートを拝
 見しておりますと、医薬翻訳者を目指し
 て勉強を重ねておられる方、翻訳を始め
 たばかりとおっしゃる方、すでに翻訳者
 や校正者としてご活躍の方など、翻訳へ
 の関わり方も様々でした。

それでも、森口様の講義は経験や専門
 分野や立場の違いを超えて広く強く支持
 されていることが、よく伝わってまいり
 ました。私は会場の都合で今回の講演は
 拝聴できませんでしたが、皆様のアン
 ケートを読ませていただきますと、講義
 に対する賞賛と感謝の言葉を次々に見る
 ことができます。参加者の皆様が知りた
 いと思っておられること、悩んでおられ
 ることは、似通っているようでそれぞれ
 違うのかも知れないと考えておりました
 が、森口様は、限られた時間の中で、そ
 れぞれの疑問に見事に応えて下さったの
 だと思いました。

後半は、立食形式の交流会を行いました
 ました。前半のセミナーに比べ、より和やか
 な雰囲気の中で、森口様のところには参加
 者の皆様の輪が絶え間なくひろがり、お
 話は尽きることがないようでした。

2 時間の講義の直後でしたが、森口様
 は、終始にこやかに、真剣に皆様とお話
 をなさっておられました。森口先生とお話
 ができ、とてもよい機会を設けてくれた
 とうれしそうにおっしゃっていただき、
 私どもの方こそ感謝の気持ちでいっぱい
 でした。



これからもこのような有益なセミナー
 を期待していますというお言葉を、今回
 のセミナーでも非常に多くいただきました。
 西日本セミナーは、講師のお力で参加
 者の皆様のご支持をいただいているのだ
 と痛感しております。私ども事務局は、皆
 様からのご指摘を心にとどめ、貴重な講
 義を拝聴できる場として、また皆様が新
 しい知識を得る場としてふさわしい環境
 を作り上げられるよう、妥協をせず努力
 していかねばならないと思いました。

報告者：奥村 未知
 (株)翻訳センター

次回予定
 平成 15 年度 第 5 回 JTF 西日本セミナー
 【日時】2004 年 2 月 21 日(土)
 【場所】グランキューブ大阪(大阪国際会
 議場 1102 号室)
 【講師】JTF 理事 井口 耕二
 【テーマ】ステップアップを目指して(仮
 題)
 【申込】<http://www.jtf.jp/form-nn.html>

**IT時代をリードする
 マニュアルから
 ウェブページ翻訳まで**

例えばこんな技術を持つ人を歓迎します。
 ・テレコミュニケーション
 ・ネットワーク
 ・マニファクチャリング



和文英訳在宅翻訳者 募集

株式会社富士通ラーニングメディア

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-37-10(蒲田グリーンビル)
 ドキュメントサービス部 宛
 TEL: 03-3730-4396 FAX: 03-3730-3702
 Eメール: qa-trans@flm.co.jp
 URL: <http://www.flm.fujitsu.com>

JTF 翻訳環境研究会報告

平成 15 年度第 5 回 JTF 翻訳環境研究会
平成 15 年 10 月 7 日 (火) 14:00~16:40
開催場所: 翻訳会館

【テーマ】技術翻訳: 日本語原文の徹底理解が決め手

【講師】

坂元 誠氏 (日英技術翻訳者)

富永 信太郎氏 (国際経営コンサルタント、
企業内研修講師)

講演 - 坂元 誠氏

工業技術翻訳の現状

英文和訳の翻訳料金相場は底なしの下落傾向にある。ただし高品質かつ専門性の高い和訳および英訳の料金相場は変わらない。翻訳業界は今後、日英翻訳需要の多様化と潜在市場の顕在化傾向に合わせ和文英訳に進出すべきであろう。

《英文代行著述》の発想

企業の事情の変化に伴い、付加価値の必要な仕事が外注翻訳に増えてきた。説得力のある巧みな文章が必要な場合や社外専門家の翻訳が必要な場合、美しい図版が必要な場合などである。これらの仕事には「翻訳」を超えた《英文代行著述》という発想が必要である。また常に同じソースクライアントに協力できるような体制により品質安定を図る必要もある。

日本語原文の徹底理解の必要性

意外にも技術者が用語を誤用したため、技術に疎い翻訳者が見当はずれの誤訳を犯す事例が多数報告されているが、原文の内容を技術およびビジネスの基本常識に照らして校閲するのが翻訳者の正しい姿勢である。このため常に原文の妥当性確認に努めることが絶対に必要である。また業界や各企業固有の略語や造語にも

気をつけなければならない。多義語については原文を確実に理解したうえで慎重に訳語を選ばねばならない。

ネイティブ翻訳 / 校閲者の再評価

和文英訳は英語を母語とする翻訳者に任ずべきだと言われているが、技術に疎いネイティブ翻訳者やチェッカーが恣意的に日本人翻訳者の訳文を「改悪」した結果が企業のウェブページを飾る実例もある。これは、ネイティブであることに慢心したネイティブ翻訳者に、正確な翻訳よりも表現の巧みさばかりを重視しすぎる傾向があるためであり、彼らの再評価が緊急課題であることを示している。

原文の背景を正確に理解すること

お客様に『この翻訳者はうちの会社や製品のことがわかっている』と言っているだけのような翻訳を行うのが賢明である。そのため常に科学・技術の基本を復習し先進技術を学び、翻訳に先立ちウェブサイトを対象企業とその製品を調べ、要を得た説得力のある英文に仕上げたい。

日本人にできる日英技術翻訳

日本人翻訳者とネイティブ翻訳者はそれぞれが強みを活かして仕事の「棲み分け」をすることになる。日本人翻訳者は日本語の真意を正しく理解し論理的に説明できるのが強みである。隠喩は極力避けて英語の論理で直截的に説明をする。また、パラグラフを再構築することが有効である。原文が明らかに誤っていたときに必ず著者の確認を求めていけば、お客様からさらに厚く信頼されることになる。

講演 - 富永 信太郎氏

英語の前に日本語を研究する

和文英訳に必須の作業は、英語よりもまず日本語を研究することである。日本語を客観的に理解していなければ価値ある日英翻訳はできない。日本語は自発(自然展開)表現が豊かであるので、注意して

いないと自己主張を殺してしまった表現になりやすい。ところが、英語は自発表現が貧弱であるので気を付けないと自己主張の塊となる表現になりがちである。そのため日本人著者が無自覚的に自己主張を抑えた文章の「真意を正確に理解」して著者が主張したいメッセージを英語で明示的に表現する必要がある。

また文化背景の理解も重要である。日本語は結論を後回しにするが、英語は最初に結論を言う傾向がある。そのため、結論を後回しにした日本語の文書そのまま英語に翻訳をした場合、読む価値のない英語になってしまう。情報戦略として確実に伝えるべきことを判断して翻訳をしていくことが重要になる。その意味では「翻訳者」ではなく「情報コンサルタント」という考え方を持つ必要がある。

付加価値翻訳及び編集 (VATE) TM

付加価値翻訳及び編集とは、“Value Added Translation and Editing”の意味で、日英翻訳及び英日翻訳にて編集者を関与させ、対象言語国の文化に沿った表現を目指し、読者に訴える文献を構築するというものである。

編集者の資格要件

一方の編集者は、国文学または英文学の素養があり、対象言語文化に習熟して読者を想定した文書構築ができる人材である必要がある。また、専門領域における実務経験が豊富な人材でなければならない。いずれにせよ日本在住ネイティブ神話からは脱却しなければならない。

ROI (Return On Investment)

翻訳は「経費」ではなく「投資」であるという視点を持つことが大切である。翻訳により現状を客観的に俯瞰すれば、構造的補強をすることが可能になり、構造改革、経営管理改善に寄与することができるため、最終的には多大な見返りとなって翻訳発注者に戻ってくるだろう。

翻訳に関わる人のためのメールマガジン

Tra-maga

Translation Mail Magazine

翻訳の専門校フェロー・アカデミーが、月2回配信するメールマガジン「Tra-maga」。翻訳業界で活躍する方々へのインタビューや、翻訳用語紹介、プレゼントなど、毎回盛りだくさんの内容をお届けします。
登録はフェロー・アカデミーのホームページから。

登録は無料!

<http://www.fellow-academy.com>

創立29年翻訳の専門校

フェロー・アカデミー

お問い合わせはフリーダイヤルかE-mailで

E-mail: info@fellow-academy.com

〒107-8520 東京都港区赤坂 8-5-6 翻訳会館 (地下鉄「青山一丁目」駅より徒歩3分)



0120-024240

[受付時間: 平日9~21時 / 土曜9~17時]

 平成 15 年度第 6 回 JTF 翻訳環境研究会
 平成 15 年 11 月 11 日 (火) 14:00~16:40
 開催場所：翻訳会館

【テーマ】特許翻訳：さらに高度化する翻訳スタイル

【講師】浜口 宗武氏 (株式会社知財翻訳研究所代表取締役)

マクロ的見地からの分析と考察

特許翻訳の市場規模は日本語に関わるものだけでも 1000 億円以上はあると思われる。そして特許制度がなくならず、人間の本質である「創造」が行われる限り、特許翻訳の需要はなくなる。需要は景気変動には左右されないが、特許制度が変われば需要も変貌する。

需要変化のプラス要因は、大手企業にとって自国内のみでの特許は最早意味を持たないことや、パイオ・ナノ・IT 関連・環境といった新技術分野の成長が挙げられる。一方のマイナス要因には、出願人負担を減少させようとする世界的な動きがあることや、IT の発展による技術情報の世界同時共有がある。

制度として今後向かっていくであろう方向は、地域特許制度 (EPC やアジア特許制度構想)、相互承認制度 (日米など)、PCT の延長としての世界特許制度指向、またその前段階としてのネット経由日米欧同時出願システムなどが挙げられる。

顕在化している変化としては、日本企業がいわゆるパリルートの出願から PCT へと移行していること、優先権証明翻訳が形骸化ないし不要化していること、日本明細書の書式の変化などがある。

価格動向について考察すると、デフレの影響もあるが、弁理士法の改正による影響や、企業の対特許事務所の値引き要求による翻訳価格の下落、日本の翻訳会社と比較すると 6 割程度の価格で受注を

する韓国や台湾などの翻訳組織の攻勢による影響などが出ていることが見受けられる。

ミクロ的見地からの分析と考察

特許翻訳の現場で現在実際に起こっている特徴的なことを挙げると、パリルートの出願から PCT へと移行しているため、その影響が出ている。また PCT 翻訳期限が延長 (最長 30ヶ月) された影響も出ている。特許翻訳の場合は制度が変わると翻訳に影響が発生するのが特徴であるといえるだろう。

最近ではファイナライズを現地で行うというケースがあり、このような場合にはソースクライアントから「直訳」で翻訳を行って欲しいという要望が出される。

価格割引を引き出すために、特許明細書の中から「共通部分」を抜き出し、翻訳をしなければならない箇所のみを翻訳する、いわゆる差分翻訳のような依頼を受けることもある。

また出願件数の多い大手企業が知財管理や特許出願のための子会社を設立するようになり、大量の特許関連業務を子会社で処理するというケースも出ている。

これは今のところ限定的ではあるが、日本企業から韓国、台湾などの翻訳組織へ発注するという場合も出ており、価格面での競争が発生することになる。

近い将来の特許翻訳の姿

ソースクライアントが特許翻訳者に望むものはまず技術理解力であるが、現在翻訳会社は翻訳力を重視している。今後はよりソースクライアントの望む翻訳を行うことになっていくであろう。翻訳支援ツール等、IT の活用も視野に入れる方向になってくると思われるが、現在はまだ特許翻訳に十分に活用できないレベルである。また出願明細書以外の翻訳への対応も必要になるだろう。翻訳者の需給関係について考えると、知財戦略会議、文

部科学省の英語教育見直し、専門大学院構想などにより、翻訳者を目指す人は増加すると思われるが、特許翻訳者として活躍できる人材が輩出されるかどうかに関しては未知数である。

ビジネスとしての特許翻訳

翻訳会社としてのビジネスの可能性を模索してみると、たとえば海外との直接受発注といった翻訳受発注ルートの合理化といったことが考えられる。また、顧客ごとの翻訳資産の蓄積を行い、顧客への提案に活用していくこともできるだろう。多言語翻訳を前提とした受注を行うことや、翻訳をすることを意識して、日本語明細書作成段階から関与することも必要だろう。これは誤った日本語表現をしている明細書を翻訳したために誤った翻訳になることを防ぐために重要である。他にも海外出願事務・中間処理込みの受注や、出願用図面も原文のデータを活かして同時に作成することなども考えられる。

個人特許翻訳者へ提案したいことは、最終的には翻訳者がいなければ国際特許の世界は動かないということとをまず意識して欲しいということである。翻訳会社がなくとも国際特許の世界は動くが、翻訳者がいなければ動かない。個人で特許翻訳をする場合には、顧客との連絡を密にすること、得意な技術分野を決めて明細書の読解力を涵養すること、顧客ごとのマニュアルを作成しておくこと、中間処理、特許裁判、ライセンシングなど、明細書以外の翻訳も守備範囲に入れておくこと、特許制度や実務についての情報を常に収集して変化に対応していくこと、自営業者としての積極的な売込みを行うことなどが大切になる。

報告者：長田 裕之
 (株)アメリカ・ネットワーク

サン・フレア グループでは、翻訳学習から翻訳実務まであなたをサポートいたします。

「Pre-OJT」「OJT」申込受付中!《分野:特許・ローカライズ・医薬》

所定のトライアル
合格者

➡

翻訳者養成
Pre-OJT

➡

プロ養成
OJT

翻訳会社(株)サン・フレア
産業翻訳者募集中!
TEL: 03-3355-1168
<http://www.sunflare.com/recruit/>

翻訳会社(株)サン・フレア
オンサイト翻訳者
在宅翻訳者/エディタ

★ 2004年 1月・2月・3月開催 翻訳セミナー ★

- 1月24日(土) 10:00 ~ 15:00 (昼休1h) in東京
『基礎からわかる金融・経済』翻訳セミナー: 小林 孝雄 先生 (13,000円税込)
- 2月21日(土) 10:00 ~ 15:00 (昼休1h) in東京
『TQE・レベル判定試験』対策セミナー(コンピュータ): 杉田光雄 先生 (13,000円税込)
- 3月13日(土) 10:00 ~ 15:00 (昼休1h) in東京
『TQE・レベル判定試験』対策セミナー(医学・薬学): 濱田京子 先生 (13,000円税込)
- ◆ 1/31・2/14・3/6 (土) 10:00 ~ 16:00 (昼休1h) 「TRADOS 1日講習会」

サン・フレアアカデミー

TEL: 03-3355-2678

<講師募集> 産業翻訳講座の通学料講師、または添削・教材作成などにあなたの経験を活かしてみませんか?

www.sunflare.com/academy/ 東京都新宿区四谷4-7 新宿ヒロセビル2F

日本語に関する電子辞書

JTF 理事 井口 耕二

日本人だから日本語ならよく知っているかという、必ずしもそうではありません。特に「表現する」というレベルでは、覚え間違いをしていたり、あやふやなところがあったり、表現の幅が狭かったりと意外に自分の日本語が貧弱なのだ気づくことが多いものです。だから、翻訳フォーラム (<http://www.fhonyaku.jp/>) のウェブ掲示板でも、類語辞典をはじめ、日本語の辞書の話がときどき出るわけです。その中から、今回は、電子辞書を中心にご紹介します。

国語辞典

基本となる国語辞典は、いろいろな規格のCD-ROM 辞書が出ています。複数辞書の串刺し検索ができるという意味から、できればEPWING 規格のものがいいでしょう。検索ソフトに Jamming (シェアウェア。 <http://dicwizard.jp/>) を使うなら、ロボワード規格の辞書なども使えます(システムソフト版は一部、非対応)。国語辞典のうち、使い勝手のよい規格でCD-ROM 版が出ているのは、以下のとおりです。

- ・広辞苑 第五版(岩波書店) EPWING。定価 11,000 円)
- ・スーパー大辞林(三省堂) (EPWING。定価 9,000 円)
- ・岩波国語辞典 第六版(ロボワード。定価 4,500 円)
- ・新明解国語辞典(三省堂) (ロボワード。定価 8,800 円)

類語辞典

英文を書くときには Thesaurus をよく使います。日本語でも、英語の Thesaurus と同じくらいすぐれた類語辞典があれば日本語の表現がかなり幅広くなるはずですが、残念ながら、なかなか適当なものはありません。

- ・角川類語新辞典(角川書店) EPWING。定価 30,000 円)

古くからある類語辞典で、紙版を持っている人も多いでしょう。CD-ROM 版は高価なうえ、販売元の富士通に直接電話で申し込まないと買うことができません。とりあえずは紙版(5,100 円)を使ってみて、よく使う人は思い切って購入するということでしょうか。

- ・デジタル類語辞典(ジャングル。定価9,800 円)

独自規格なので串刺し検索はできませんが、使い勝手が比較的良好、翻訳者間の評価はまずまずです。検索窓に日本語を入力すると、類義語や反意語がいくつかのグループに分類されて表示されます。このように一覧性があるのは、類語辞典としてはとても便利です。また、差別語とされるものは異なる色で表示されるなど、機能的にも工夫されています。実売価格が7,000 円くらいと比較的安く買えるので、とりあえず買って損のない類語辞典だと言えるでしょう。

なお、増補版が2004年1月16日に発売される予定です。購入する人は、新しいものを選んでほうがいいでしょう。

- ・類語例解辞典(小学館) (システムソフト版。定価 7,800 円)

独自規格(システムソフト版)で串刺し検索ができません(Jamming でも検索できません)。裏技的にEPWINGに変換する方法は存在しますが、ふつうの人にはなかなか難しいでしょう。この辞書が気に入っているという人以外は、とりあえず、やめておいたほうがいいかもしれません。なお、システムソフト版の各種辞書は、現在、LogoVistaのサイトで販売されています(<http://www.logovista.co.jp/>)。

その他

- ・Super 日本語大辞典(学研) (学研独自規格。定価 9,500 円)

独自規格による統合日本語辞書で、下記の

辞書が一つにまとめられています。内容的には豊富で、かなり使いでのある辞書だと言えます。ただし、いくつものウィンドウが開くため、モニターが小さいとちょっと厳しいかもしれません。

- 「学研国語大辞典」
- 「学研漢和大辞典」全 J I S 漢字版
- 「全訳用例古語辞典」ビジュアル版
- 「カタカナ新語辞典」
- 「故事ことわざ辞典」
- 「学研シソーラス」電子データ版

賢い買い方

電子辞書は、紙版と比較して部数が出ないので、一般に高価です。しかし、多少は安く買える場合もあります。

まずは、パソコンソフトを取り扱っている量販店に行ってみましょう。量販店は割引販売がふつうですし、ポイント還元などもあります。ただし、お目当ての辞書タイトルは店頭に見あたらないことが多いはず。買いたい辞書のタイトルや出版社名、できればISBN番号などをメモして行き、取り寄せてもらいましょう。だいたい、タイトル自体が10%引き、そこからさらに10%のポイント還元で、合計、20%近く、安く買えるはず。合計、20%近く、安く買えるはず。

パソコンソフトの量販店で注文したとき、一部、取り扱えないと言われるものがあります。これは流通形態の違いによるものなので、あきらめて、他の方法で買きましょう。他の方法だとほとんど定価になってしまいますが...Amazonなどの書籍販売サイトや日外アソシエーツのウェブサイト (<http://www.nichigai.co.jp/>) などで、一部の電子辞書を割引販売していることがあります。近所の書店で注文する前に、念のためチェックしてみることをお勧めします。

特許英和講座

特許翻訳の第一歩は良い英文明細書を翻訳すること
実際の英文明細書を用いた演習
特許翻訳環境や実務への導入も講義
英訳への応用も視野においた授業構成

講師 佐藤 亜古 氏 (フリーランス翻訳者)
受講料 8回分一括 お一人様 100,000円 (消費税・テキスト代込)
*JTF会員の方は5%割引となります

会場お申込 (株) 知財翻訳研究所 知財アカデミー事務局 (担当・平田)
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル
TEL03-3225-1931 FAX03-3225-1933 e-mail academy@chizai.co.jp

【日程】
2004年3月27日から5月22日までの5月1日を除く連続土曜日(全8日)

【時間】 13:30-16:30

【内容】
特許明細書概説、特許翻訳に役立つ資料(日本語)の紹介、特許翻訳に役立つCD-ROMおよび関連ツール、特許翻訳に役立つサーチの仕方、関連ホームページおよびツール、特許翻訳に役立つ外国語文献の紹介、特にクレーム翻訳に役立つ文献の紹介、慣例的な表現の解説、その他

【定員】20名(原則先着順)



●詳細は
株式会社知財翻訳研究所
www.chizai.co.jp

日本人による英訳のプロセスと外国人による英訳のプロセス

JTF 参与、全国職業翻訳者協議会会長 板垣 新平

ここで日本人と言うのは、日本人のすべてを言っている訳ではありません。また、ここで外国人と言っているのも全ての英語圏のネイティブを指して言っているわけではありません。私が体験した範囲内で自分が感じたことを述べさせて頂くまでのことです。例外は沢山あって一概に「こうだ」と決めてかかれるものではありませんが、日本語を英文に訳す場合に、私を含めて多くの日本人や外国人の翻訳プロセスをつぶさに観察していて強く感じたことを述べさせて頂きましょう。量としては400字詰め原稿用紙約30～40枚くらいとしておきましょう。

まず日本人の翻訳の手法を見てみると、次のような段階が見られます。第一は、まず渡された日本語の原稿にさっと眼を通します。日本語の原文は語法上不正確が多いこと、難解な漢字の用語が多いこと、日本人特有の曖昧な表現法が多いこと、横道にそれることが多いこと、終始一貫した論理に欠けていて曖昧な箇所が多く、簡単にはすっきりと理解出来ないものがほとんどです。しかし、日本人ですから日本語を逐一英訳してゆくうちに内容がはっきりしてくるだろうと、納期に追われて、気が急ぐままに辞書の力を借りて直訳にとりかかります。この段階での直訳作業は、原文の意味がはっきり掴めないままに始めるものですから、間違いだらけの意味の通じない素訳で翻訳にはなっていません。その上、面倒な箇所はとこところ抜かしたところもあります。日本語の原文を精読しなかったことが、のちのち大きく悔やまれることとなります。

でも、手を入れてゆけば何とかなるだろうと、次の段階で誤りを訂正します。誤りの訂正と言っても、せいぜい初歩的文法の訂正くらいで、その翻訳者の文法能力の範囲の中で訂正するということとなりますので、中には「単数複数の誤り」「代名詞の取り違え」「自動詞他動詞の整理」「加算不可算名詞の整理」などの訂正以上は出来ないこともあります。ここで読み直して見ますが、もともとの原文の意味が分からないので、言葉の意味の取り違えが目立ち、コヒランスも不明のままです。それでも、これ以上はどうにもならないので、そのまま翻訳文として、提出する人がいますが、本人の努力にも拘わらず、当然突き返され、料金も払ってもらえず、絶対に再び声がかかってくることはありません。

少し熱心な翻訳者は、さらに文法に手を加えるため第四段階に入ります。こんどは「時制の一致」「仮定法と条件副詞節」「修飾分詞と修飾不定詞(unattached modifier)」「イディ

オム」「配語配文の順序」等を丁寧に訂正し、読み直して意味の通じない所を上手に意味が通ずるようにコヒランスを勝手に作り上げます。そのために、ここで原作者の意図するところの主旨と大きく変わってしまいます。最初の日本語の解説が杜撰だったばかりに起きる悲劇です。外国人のチェッカーも分かりづらい日本語の原文と訳文とをよく照合しないまま通してしまうことが多いです。

チェッカーはその不自然な英文に手を加え、読み易い英文に直しますが、それでもチェッカーはかなり手を焼きます。読み易い英文になったとはいうものの、直訳をベースにした翻訳は原作者の意図するところと大きく外れていますので、納品後、必ず問題が起き、クレームがつき、全面的なやり直しを要求される破目になり、手間ひまかけた分に見合う収入は貰えません。こんなことでは「やるんではなかった」と自分を怨み、相手を怨んで、英訳というマシヨクに合わない仕事から手を引いてゆく人も出てきます。

誇り高きプロ翻訳者は努力の鬼です。翻訳作品を提出する前にもう一度日本語の原文を読み直し、見落としていた原文の意味を再発見し、原作者のコヒランスを再確認し、枝葉末節の箇所を整理し、要点を絞り、数字や日付をチェックし、地名、商品名、人名などを確認します。昭和64年は2月や3月はありませんし、北京はBeijing、アモイはXiamenですし、江沢民はGiang Zeminです。諺や譬え話の置き換えやイディオムやレトリックの活用を考えたり、英語のリズムを取り入れたり、多少無理な表現があっても原作者の言わんとするところを隈なく言い尽くし、日本人特有の奥床しさを残し、しかも訳抜けのない英訳文に変えます。ここいらが第六段階から第八段階の仕事になり、最終的な仕上げを終えて提出するのです。かくして、高い評価を受ける翻訳作品が出来上がります。料金も高い料金がもらえ、気に入られてリピートオーダーが入ってきます。ここにおいて、安定したプロ翻訳者の生活がはじめて確保出来るようになります。

日本人の英訳プロセスの中で、第二段階から第八段階までの時間と労力の消耗はすべて英文の作成に捧げられます。翻訳者としてコストの削減と品質の向上は仕事の継続性に不可欠なものでありますが、それには、英文作成の時間と労力を限りなく少なくさせることと、良質の英訳を限りなく向上させること、つまりは、英語の勉強の継続と、翻訳に取りかかる前に日本語の原文を根気よく徹底的に熟読し、原作者の意図を確りと掴むために時

間をかけることが要求されましょう。

さて、外国人翻訳者は日本人翻訳者とは対照的で、まず日本語の原文を通読しますが、日本人でも難解な日本語ですから、完全に理解出来るはずはありません。そこで、時間をかけて、まず徹底的に原文の意味の把握に取りかかり、辞書や参考書を調べ、周囲の人に尋ね、識者に意見を聞きます。腑に落ちなければ原作者に直接問い合せたり、発注者に質問したり、ときには文句をつけたり、原文を書き直させたりします。その結果、翻訳を辞退したり、受注契約に至らなくなることもさえあります。

外国人翻訳者は原作文の意図が分かれば、立て板に水を流すが如く、一気に流暢な英文で書き下ろします。

従って、仕上がりが速いことは驚くほどです。勿論、文法的なチェックは必要ありませんし、外国人にとって理解しやすい論理で訳文が構築されますから、ほとんどチェックの必要もありません。このような外国人による翻訳を望まれるクライアントは大勢います。しかし、逆に「日本人の原作者の意図は曖昧な部分を残して置きたかったのだ」「玉虫色の表現でそれぞれの読者の勝手な想像に任せて置きたかったのだ」「相手に向かって婉曲な表現で迫りたかったのだ」「分かり切ったことは極力省いて、相手だけが分かる簡潔な文にしたかったのだ」「横道に外れた部分に伝えたかったことがあったのだ」「最も重要な部分は本文に入れず、追伸に書きたかったのだ」などの不満がクライアントに残ることも多いです。また、最初から word for word の直訳でなく、一貫して意識で通していますので、訳抜けがあるのでないかとの不安も残ります。

英文は日本人が書く英文よりも確かに流暢ではありますが、日本人の英語でも熟練した達人が書いた英語ならば見劣りせず、堂々と通用します。これが逆に、外国人で外国語の原文を日本語に訳したときは、大変な苦勞をし、時間をかけた割には、いい翻訳が出来るとは限りません。前に述べましたが、日本人が英語力を磨き上げることで、所要時間が短縮され、良質の訳文がより低コストで作られるように、外国人は日本語の読解力をより磨き上げることで、所要時間が短縮され、良質の訳文がより低いコストで生み出すことが出来るのです。最後にひとつ、外国人の翻訳作品に厳しいチェッカーの手を加えれば、外国人の翻訳の質はもっと向上し、日本文学の英訳、すなわち、日本文化の海外進出に更に大きく貢献することになります。

法人会員プロフィール

株式会社 サングローバル

東京都荒川区西5-15-10 今井ビル3F

TEL : 03-3891-1541 (大代表)

FAX : 3891-1543, 3891-1551

sakurai@snow.dti2.ne.jp (JTF 関係専用)

URL : <http://www.sunglobal.jp/>

* 一般産業各分野多言語翻訳

* ソフトウェアのローカリゼーション

* 人材派遣および紹介

* 翻訳者養成講座

合併報告

(株)サングローバルは、創立されて間もないIT部門を主体とするグローバルテックコミュニケーションズ(株)代表取締役:佐藤豊)と、一般産業部門を主体に24期を無事通過した(株)サニーアート(代表取締役:櫻井恵美子)が平成14年12月に新設合併した会社である。最も現実的かつ理想的な合併であったと当社の社員は認識している。当初の謳い文句は、「旧体制で停滞している企業に新旋風を吹きこみあらゆる面で改革と改良を行い利益向上を狙う」であった。しかし現実にはこの2社だけの合併では上記の文言は陳腐な文句の羅列に終わるように思える。IT部門と一般部門では、競争性、翻訳者の選定、OJT、校正方法、社員に要求される職能範囲などあらゆる点でほとんど共通点はなく、新しい風は吹いていないが共存している。しかし異業種合併には大きなプラス面がある。発注企業の活発・沈滞の波は大体4年~5年の周期を繰り返すため、最適な発注企業に的を絞った最適の営業ができることと資金面において相互支援が出来ることである。事業拡張を立案されている会社、あるいは分野の特化を図り縮小計画を立案されている会社があれば

ばぜひ当社も皆様の会議に参加させて頂きたい。当社は、一社でも多くの翻訳会社の統合こそが総合営業の効果を生み、経常利益向上につながるという指標を作成している。

講座案内

平成14年8月27日に佐藤と私、櫻井(現サングローバル代表取締役)は「翻訳会社の合同プロ翻訳者養成講座」を開設をしたいと訴えた。当時は多くの翻訳会社の経営者からそのコンセプトに賛同をいただき、集客には多大のご支援を賜ったが実現には複雑な事情があったりして、現時点ではまだアイデアの段階を出していない。しかし私はこの合同講座開設の夢をまだ持ち続けている。合同開催の実現までに(株)サングローバルは単独で「翻訳講座」を開設している。これは多くの翻訳会社の教育部が行っているのと類似しているだろうが、弊社の講座過程を終了し、成績が向上した翻訳者、或いは定期募集で高い評価を得た翻訳者には他の翻訳会社に推薦すると公言している点が他社と異なるのではないかと思う。実際、数名を紹介している。問題は10年経験の翻訳者で「失格翻訳者」と弊社で判定している翻訳者を他社へ知らせるべきかどうかである。それらの翻訳者の言葉は決まって、「他社からは多量を受注している」である。翻訳者の言う「多量受注」を信じるならばどんな翻訳会社がこの方達の翻訳を売り捌いているのだろうか。大いなる疑問である。翻訳作業、ひいては翻訳業界に対する社会評価の低下に寄与する行為は可能な限り制御したいのが私の願いである。

弊社の小規模データでは「失格翻訳者」は増加傾向にある。その理由として、インターネット検索による訳語の安易な選択、機械翻訳支援ツールの安易な使用者の増加が挙げられるのではないかと思う。用語さえ間違っていなければ一応は「売れる」と思い込んでお

いでの翻訳者の話を多く聞いた。しかしもっとも重視すべきは翻訳の根底にある。例えば和訳であれば、分野別の文体を重視した自然体の日本語の作成力である。下訳者ではいつまでたっても浮かばれない。弊社の校正者は技術用語の達者な翻訳にプラスアルファするために多大の時間を費やし、経費削減とはほど遠い結果になっている。最近はいい価格で受注してくれる翻訳志望者が増加している。志望者は向上心に燃えていて頭が下がる思いである。私は旧サニーアート時代から引き続き長年に亘って貢献して頂いている翻訳者達を招いて、「日本語を重視する翻訳講座」の説明会を開催した。弊社の講座はビジネスとはお世辞にも言えないことが弊社のホームページをご覧いただければ理解して頂けると思う。学習に王道なしの真理に基づき、非常に地味にはあるが、弊社の「プロ翻訳養成講座」は今後可能な限り継続していく。その中では日本語を重視する内容を織り込んでいく。英訳の場合にもこれは適用できる。「売れる英訳が納品されない第一の理由は日本語の読み込みが浅いため」と主張している講師の意見を尊重するからである。弊社のコンセプトと講座内容をご検討いただき皆様のご賛同をお願い致します。

私は、全国職業翻訳者協議会の創立者である板垣新平先生が弊社主催の平成15年8月2日のイベントで述べられたお言葉に励まされている。以下にその一部を引用させていただく。「翻訳業界の存在が世間に認知されない限り、品質評価とか価格の問題を企業に投げかけても効果はありません。業界全体を盛り上げていくには本部を支えるワーキンググループの活発な活動が必要です。そんな観点から、全国職業翻訳者協議会は、分科会としての重要な使命を担っているわけです。本日のような交流会や任意団体の活動は非常に重要な意味があります。」

「翻訳講座」受講生の募集

- 受注を増加させたい、安定させたい翻訳者のために
- 翻訳者として仕事をしたいと思っている方のために

一般産業翻訳部門(和訳・英訳)

通学コースと通信コースがあり、テキストは基礎課題と実践課題の二部から構成されています。医学専門部門(和訳)もあります。

翻訳講座のご案内、お申し込み、今後の予定など、詳しくは、<http://www.sunglobal.jp/skillup/> をご覧ください。

お問い合わせ: skillup@sunglobal.jp

Traditional method is better

弊社の翻訳講座は、従来型翻訳方式を重視しています。機械翻訳、翻訳支援ツールはベテランの翻訳者のみ使用していただきたいと考えています。今後開設予定の機械翻訳講座は上記のコースを終了した翻訳者を対象にします。

News

「ほんやく検定」申込み締切迫る

第40回 JTF <ほんやく検定>は2004年2月28日(土)に開催される。多数の JTF 会員の参加が期待されている。インターネットでも受験可能。申込み期間は2004年1月30日(金)まで。検定の詳細と申込みは JTF の WEB サイト (<http://www.jtf.jp>) 参照。

第5回しずおか世界翻訳コンクール

静岡県が開催する「しずおか世界翻訳コンクール」は、日本の優れた文学を世界各国の言語に翻訳するコンクールで、日本文化の発信、翻訳家の育成、ひいては国際間の相互理解の促進をめざすものである。今回は英語とロシア語を対象としている。日本から海外に向けた情報発信の促進を求める声が多様な分野が高まっているが、このような自治体による事業が今後も拡大することが期待される。(<http://www1.sphere.ne.jp/shizuoka/translate/> 参照)

「愛・地球博」ボランティア募集

来年3月～9月に開催される「愛・地球博」では、各種分野のボランティアを募集する。これら分野には「外国語による情報提供」も含まれている。同博ボランティアセンターからも JTF に対して、これらボランティア活動に対する会員の参加促進を求められている。愛知県周辺在住の会員の皆様は是非。(本誌 p.2 の記事および <http://www.vol-expo2005.jp/> 参照)

800g 以下のモバイル型ノートパソコン登場

超軽量の B5 ノート機が登場した。ソニーのバイオノート 505 シリーズである。特に直販製品の「PCG-X505/SP」は、CPU が Pentium M 1GHz、メモリー 512MB 搭載、ハードディスクは 20GB、ディスプレイは 10.4 型で、なんと重さ 785g、厚み 21mm。無線 LAN カードも添付されており、価格は 349,800 円。この重量は雑誌 2 冊分ほどの重さである。バッグに入れて持ち歩けば、「どこでも翻訳」が可能になるかも。これ以外の軽量ノート機には、重さ 1Kg を切った最初のノート機である 990g のパナソニック Let's note (CPU: Pentium M 1GHz、ディスプレイ: 10.4

型、ハードディスク: 40GB) のほか、シャープから 910g のメビウス・ムラマサ (CPU: Efficeon TM8600 1.0GHz、ディスプレイ: 10.4 型、ハードディスク: 20GB) 東芝から 995g の dynabook (CPU: Pentium M 1GHz、ディスプレイ: 12.1 型、ハードディスク: 20GB) などが発売されている。

10万円以下のノートパソコン発売相次ぐ

DELL、IBM、日本ヒューレット・パッカーカード、東芝、エプソンなどパソコンメーカー各社から 10万円以下のノートパソコンが相次いで発売されている。いずれも、CPU は Celeron 2GHz、Athlon XP-M 2200+ など、メモリー 128 ~ 256MB、ハードディスク 20GB ~ 40GB、ディスプレイ 14.1 ~ 15 型など。液晶パネルの低価格化が大きい要因の一つであり、デスクトップ型パソコンでも、ディスプレイの液晶化が急速に進んでいる。

今年は複合機が流行か

1台で複数の機能を持つローコストのインクジェット複合機が各社から相次いで発売されている。セイコーエプソンとキャノンは、ともに高画質と高速度を売り物にしたプリンタ/スキャナ/コピー複合機 PIXUS シリーズ (実勢価格約 28,000 ~ 36,000 円) と CC-600PX/PM-A850 (実勢価格約 27,000 ~ 38,000 円) をそれぞれ発売。これらのシリーズには、メモリーカードを利用可能なスロットを装備した機種や、CD-R のタイトルが印刷できる機種が含まれる。セイコーエプソンは「つよインク」を使用していることで、普通紙への印刷が美しく、長期保存が可能。キャノンには FAX 機能と自動給紙装置を搭載した製品 (実勢価格約 55,000 円) もある。また、日本ヒューレット・パッカーからは低価格とコンパクトサイズが売り物の PSC1350 (実勢価格約 20,000 円) と FAX 機能内蔵の PSC2550 Photoshot (実勢価格約 53,000 円) が発売されている。さらに NEC や レックス マーク インターナショナル も低価格のプリンタ/スキャナ/コピー複合機を販売している。

マイクロソフト Office 2003 発売

10月24日、マイクロソフト Office XP の後継となる統合オフィスソフト Office

2003 のパッケージ製品が発売された。Office 2003 には Word 2003、Excel 2003、PowerPoint 2003、Outlook 2003 などが含まれる。全体的には前バージョンと比べて、効率のかつ便利に情報を共有する機能や、情報の漏洩防止を図るセキュリティ機能などが強化されているが、新しい機能の多くは企業ユーザー向けであり、個人ユーザーにとって大きいメリットはあまりないかもしれない。

近年、10万円以下のノートパソコンが現れるなど、ハードウェアの低価格化が進んでいるが、これにともなってソフトウェアの相対的価格が高いと感じるユーザーが増えているという。実際、Word、Excel、PowerPoint を含む Office Standard Edition 2003 パッケージの実勢価格はアップグレード版でも約 28,000 円程度であるが、多くのユーザー(特に個人ユーザー)は、これほど多機能・高機能のソフトを必要としていない。マイクロソフト以外の Office 製品をプリインストールすることで価格を抑えたパソコン製品も現れている。これまでは、Word や Excel を使うためにマイクロソフトの Office を買わざるを得ないユーザーが多かったが、今後はむしろ Office 製品の高機能化がマイクロソフトの足を引っ張ることもなかりかねない情勢である。

Windows 98 のサポート終了

Windows 98 および Windows 98 SE は、2004年1月16日に延長サポートフェーズから非サポート対象フェーズへ移行し、これにともなって各種有償サポートおよびセキュリティ対策プログラムの提供を終了する。これらの OS を今後も使い続けることは可能であるが、最近では Windows 95 や Windows 98 で動作しないアプリケーションが現れていることや、セキュリティ対策の対象からはずれることもあり、できる限り Windows 2000 や Windows XP に移行するのが望ましい。特に、これら旧型 OS に新たなセキュリティホールが発見されても、修復用のパッチ・プログラムの提供が行われなため、ウィルスなどの攻撃を受けやすくなる可能性がある。

(野上 眞生)